

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名	水野治久	所属	大阪教育大学
研究集会等名称	公益社団法人 日本心理学会 援助要請研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 24 名 (うち認定心理士 5 名) 非会員 2 名 (うち認定心理士 1 名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>平成 25 年 3 月 24 日に、公益社団法人日本心理学会・援助要請研究会を立正大学大崎キャンパスにて開催した。本研究会は、助成を受ける以前のものも含めると第 8 回目の開催となる。研究会のプログラムは下記のとおりである。内訳は研究発表が全 8 件、大学院生による研究構想発表が全 2 件である。</p> <p>1 : 小池 春妙 (名古屋大学) 大学生の相談順と評価</p> <p>2 : 飯田 敏晴 (明治学院大学) エイズ相談行動促進の為の健康信念モデルに基づいた検討</p> <p>3 : 樫原 潤 (東京大学) うつ病に対するスティグマ的認知の実態と啓発アプローチの効果</p> <p>4 : 木村 真人 (大阪国際大学) 学習上の問題を通して顕在化する支援ニーズを抱える大学生への心理的支援の取り組み</p> <p>5 : 竹ヶ原靖子 (東北大学) 援助要請におけるコスト操作が援助要請者・援助者に与える影響</p> <p>6 : 本田 真大 (北海道教育大学) 適応に寄与する援助要請行動を促進する介入法の開発</p> <p>7 : 安田みどり 心理専門職への援助要請における抑制要因と介入</p> <p>8 : 永井 智 (立正大学) 我が国の援助要請におけるメタ分析—中間報告—</p> <p>9 : 川辺ひかる (北海道医療大学) 性暴力被害経験の自己開示に対する反応の調査</p> <p>10 : 北野 裕理 (駿河台大学) 保育者と養育者の間で生じる援助者</p> <p>それぞれ 15 分の発表、15 分の討論という形式で実施され、大学教員、大学院生、実践家など様々な参加者による活発な議論が交わされた。また、研究会の最後には、今後研究会として、さらに研究会を活性化させていくための方策について話し合いを行った。</p>		